

入新井特別出張所管内の人口  
令和4年9月1日現在

世帯数	23,538	(+56)
男	20,859	(+43)
女	20,351	(-10)
計	41,210	(+33)

( )内は5月1日比

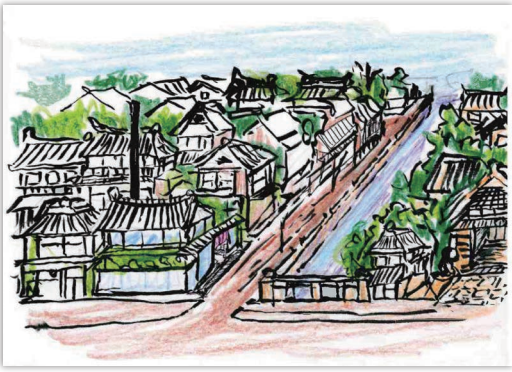
# わがまち いりあらい

発行：地域力推進  
入新井地区委員会  
編集事務局：入新井特別出張所  
〒143-0016 大田区大森北 1-10-14  
TEL 3761-5303

(年3回1月, 5月, 9月発行)

## かつて、大森は粋な街だった ～大森海岸「花街の盛衰」～

東海道第一番目の宿場、品川を南に下った鈴ヶ森の先、かつては八幡の浜と呼ばれた地に、明治の中ごろ海水浴場が開設されました。そして、東海道線「大森」駅と川崎から大森、品川へ延伸された京浜電鉄「海岸」駅の設置により、都心からの手近な行楽地として人気となりました。



ありし日の大森・八幡川周辺 高木 利忠作 (入一東町会)



近隣の川崎大師、穴森稻荷や池上本門寺への参詣と遊興を兼ね、鈴ヶ森から八幡を経て森ヶ崎、羽田までの海岸線に沿った場所に気晴らしのための施設が多数設置されました。戦争中に廃止された「鈴ヶ森」

「八幡」等の駅のほか、「海岸」駅と「学校裏」と名付けられた現在の「平和島」駅の間に、大正末年から昭和にかけては臨時駅として「大森海水浴場前」が設置されるほどだったとのこと。

「海岸」駅脇を通る国道の東側、海岸線の波打ち際を埋め立てた場所に多数の料亭が建ち並び、大正から昭和戦前期にかけ三業地(料亭、待合、芸妓置屋)として全盛を誇りました。

当時、芸妓屋 56軒、専属芸妓 240人(昭和2・1927年)、料亭と待合は大小合わせて 83軒(昭和14・1939年)ありました。連日の盛況は東京の花街でも屈指の規模であったと言われ、八幡町会と言われた現在の入新井一丁目東町会は、その大部分が料亭や他の遊興関連の施設でした。

その後、戦争と沖合埋め立て、水質の悪化により海水浴場は閉鎖され、戦後一時的に復活した大森海岸の花街も全盛期には及ばず、娯楽の



昭和12～13(1937～38)年頃の宴会の様子

多様化という環境の激変に伴い、東京オリンピック(昭和39・1964年)後の昭和40年代前半にその役割を終えました。戦後すぐには、戦いの勝者である進駐軍兵士のための慰安所設置という事実も残りました。

戦前に一部埋め立てを開始していた現在の平和島をはじめ、沖合への埋め立てにより海岸線は遥かに遠く後退し、松浅、浜田屋、楽々、福久良そして 悟空林や小町園等、かつて栄華を誇った料亭も記憶の中に残るのみとなりました。現在、国道沿いにずらりと並ぶマンション群からは、往時の様子をうかがい知ることは出来ませんが、明治百年を記念して、磐井神社境内に昭和43(1968)年に建立された海豊稲荷神社の玉垣(建物を囲む垣根)には、寄進者として当時営業していた料亭、置屋などの名前が記されています。

(編集委員 嶋原 光男)



シニアクラブ民謡大会



バスで新上市へ日帰研修旅行

## 寿楽会の活動状況について



大田区シニアクラブ連合会には特別出張所ごとに18の地域シニア会あり、その中に152のシニアクラブが存在し活動しております(入新井地域は4つの寿楽会)。

連合会事務所は大田区役所・高齢福祉課が所管しており、「高齢福祉の向上と地域福祉の増進に資すること」を目的としております。

日本では令和2(2020)年1月からコロナ感染が始まり、シニアクラブとして、大きな行事はすべて中止、または延期に追い込まれ、区の施設、町会の施設など使用不可になり、ほとんど活動らしきものが出来なかったのがこの2年半でした。

ようやく緊急事態宣言などが解除され、社会活動を止めないでシニア活動が出来ないものかと悩みながら模索し続けてまいりました。

区の施設なども三密を守りながら会場をオープンにし、集合人数も半分以下に抑えてようやく大田区シニア連合会主催行事が行われたのが6月6日～9日(4日間)の大田区民謡大会でした(会場・大田区民プラザ)。この民謡大会に入新井地域から2クラブが参加しております(写真)。この夏から秋にかけて、様々な行事が予定されております。輪投大会、敬老会、カラオケ大会、囲碁将棋大会、ゲートボール大会、文芸作品展、日帰り研修旅行などです。コロナ禍で中止にならないことを祈るばかりです。

(編集委員 渡部 登志雄)



# 駅長さんありがとう

～わがまちのど真ん中・JR大森駅～



大森という街の始動は明治9(1876)年に大森停車場が出来たことによります。わが国最初の鉄道が新橋～横浜間に開通し、開業に伴うサポート役のイギリス人、ドイツ人等の技術者や関係者の居住地として、古代より人が住んでいた山王台地が選ばれました。コロナ禍も有りますが、近年の駅務の業態に大きな変化が見えています。そんな中、鉄道マンの花形でもある駅長さんに突撃インタビューをさせて頂きました。

## 1. 駅長さんのやりがいは？

社員が一体になって駅務を通じ、お客さまとの対応で駅員へのお褒めの声をかけて戴く、私達にとっては当たり前のようなことでも、感謝されると嬉しいです。先日、幼稚園のお子さんたちが駅員さんに感謝したいと言って来られ、花束も戴きました。非常にやりがいを感じました。鉄道大好きというお子さんも居られましたよ。

## 2. 前任の駅とお仕事は？

初任地は御茶ノ水駅でみどりの窓口、改札、案内、ホーム係員。次に助役に昇進し、中野駅に異動。その後現業機関のサポート部門に移って10年勤めたあと、一昨年12月に大森駅長として駅勤務に戻りました。

## 3. 駅長さんの一日のお仕事は？

駅長は日勤ですが、社員は日勤と泊り勤務が居り、業務日誌などの確認から始まります。朝の北方面行き電車の先頭付近は凄い混雑です。お客さまの安全を促す声掛けやご案内をします。ホームドアの設置で安全性が向上しました。前日と当日の副長による引継ぎに立ち会い、本社・支社からの情報などを部下に伝える準備、構内巡回により声掛けを行います。

## 4. 大森駅の歴史は古いですが、利用者が「それ知りませんでした」、というエピソードは？

### (1) JRのホーム番号はどうやって決めているか

大森駅では1番線が蒲田・川崎方面行、2番線が品川・東京方面行です。隣駅だと違ったりします。それは何故か。駅長室が近い方から付番されるようです。今は池上通り側にありますが、最初は東口に駅長室があったからです。

### (2) お客様の命日に慰霊碑に誓いを

毎月1日に加えて、13日にも安全祈願を行っています。昔、鉄道開通後、初めてお客さま1名が亡くなるという事故が大森駅でありました。開駅から9年後の明治18(1885)年10月13日のこと、本門寺のお会式の為の臨時列車が深夜1時にポイント入替ミスのために脱線を起こしたことが原因です。二度と起こさぬように、13日の命日には慰霊碑に花を手向けて安全を誓います。

(右上写真：慰霊碑をモニターに示しながら)



大森駅キャラクター「もりすけ」 大森駅・猪爪 孝一 駅長と慰霊碑

## 5. 駅長さんから見た大森駅の特徴とお願い

大森駅は乗換の無い単独駅でJR東日本管内一の乗降客数(一日あたり)を誇ります。それが減少傾向にあり、コロナ禍前は約19万人だったのが昨年は約14万人を割る程度までに減っています。コロナ禍における学校のリモート授業や在宅勤務、テレワークの定着によるものと考えます。

駅務とは離れますが利用形態の改革を進めています。今年は鉄道開業150周年ということもあり、鉄道業界全体を盛り上げて参ります。「駅からハイキング」も再開します。前は西コース、今回は東コースで蒲田～美原通り～磐井神社～大森というコースを検討しています。

JR東日本では“未来のキップを、すべての人に。”というフレーズのもと、駅を拠点に地域も盛り上げる方針で動いています。ただ単に乗り降りするだけではなく、文化的なことにも力を入れていきます。今後ともご利用をよろしく願いいたします。

以上がインタビューの様子です。

「地域の方とこうやってお話しできることは大変嬉しく思います。これからもよろしくお祈りします。」、とのお言葉も戴きました。

慰霊碑のエピソードは初めて知りました。150周年という歴史は重たいし有難いですね。

(編集委員 横山 善朗)

(インタビューー 編集長 岡村 篤・編集委員 横山 善朗・事務局 田添 千晴)

## 編集後記

近代の産業振興により、取分け、大森では海苔の養殖産業が盛んになり、又、山王・馬込文士村の出現で、多くの文化人が活躍する中、大森海岸の花柳界も隆盛を極めるに至りました。

この様な昔懐かしき良き時代を回想することも又良しと考え、本号で取り掲げてみました。

又、現実に戻って、高齢化社会の現在、老後をより楽しく、より有意義に過ごしていただくためのサークル、シニアクラブ(老人会)の活動を紹介しました。60才以上で入会できます。

是非、充実した老後を送っていただくためにも、多くの高齢者の皆様にご入会をおすすめする次第です。

最後に、大森駅長の猪爪様には、ご多忙の中インタビューに応じていただき、大変お世話になりました。此に厚くお礼申し上げます。

(編集長 岡村 篤)

## 表彰

### 銀色有功章 (15年以上)

深谷 敏弘 (入四)

### 銀梓支部長感謝状 (5年以上)

坂野 麻実子 (入一西)

### 令和4年度 大田区自治会・町会正副会長 20年在職者感謝状

岸野 元昭 (入四)

### 令和4年度大田区交通安全功労者

竹中 澄郎 (入四) 深谷 清子 (入四)

### 自治会・町会役員永年在職者表彰

小長谷 陽子 (入三西) 高田 文子 (入三西)  
 永良 勝久 (入四) 大谷 比登美 (入四)  
 加藤 まち子 (入一西) 佐々木 章子 (入一西)  
 齋藤 一美 (入一西)